

広く相互に連携協力
県立広島大学と協定締結

県立広島大学と広島県環境保健協会は、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用して、広く相互に連携協力する包括的連携協定を締結しました。

平成28年3月1日(火)の調印式は、県立広島大学が大学生をはじめ、社会人の地域拠点、産学官の連携拠点などに利用している“サテライトキャンパスひろしま(広島県民文化センター内)”を会場として執り行われました。

当日は、県立広島大学から中村学長をはじめ、原田副学長、栗栖事務局長などが出席し、当協会からは佐藤理事長をはじめ中元常務理事、上田地域活動支援センター長などが出席し、協定書へ調印しました。

これまで県立広島大学とは、個別業務における協力、インターンシップの受け入れ、また、脱温暖化事業における運営委員会の委員長に生命環境学部(大学地域連携センター庄原センター長)の西村和之教授に就任いただくなど連携する部分が多くありました。今回の提携を機に、これ

県立広島大学学長中村健一様
(左)、当協会理事長佐藤均(右)



まで以上に当協会の事業である「環境」、「健康」をテーマにした学術連携はもとより、地域が抱える課題を一緒に解決していきたいと考えています。

今年度は、お互いのニーズ、シーズの調整を行い、個別のプロジェクトを展開し、具体的な連携事業を行っていく予定です。

今回の協定が、当協会において広島県および株式会社水みらい広島に続く3件目の連携協定となります。今後も株式会社北陸環境科学研究所との災害時の相互支援協力をはじめとして、大学、企業との連携を進めていき、当協会事業の発展を目指していきます。



地域活動支援センターでは、環境協会の業務および公衆衛生推進協議会(公衛協)や地球温暖化対策地域協議会(T-E-A-M)など県内の環境づくりに健康づくりに関する住民活動を広く発信し、たくさんの方に参加・協力していただくことをねらいにフェイスブックページを開いたしました。このページを多くの方に活用いただき、県内各地の情報が発信・共有され、仲間づくりや組織強化、情報収集などに役立てていきたいと考えています。

活動紹介や活動報告をどんどん投稿してください。難しい場合は、当センターに活動情報をお寄せください。なお、利用に際しては、当ページの利用規約をご一読ください。
(地域活動支援センター)

フェイスブックページ運用開始
仲間づくりや組織強化、情報収集に活用を

～ 基礎研修のすすめ ～

基礎研修は、公衆衛生推進委員の任務や活動の進め方を学び、環境・健康募金(旧健康感謝募金)のしくみや各市町公衛協で掲げた事業などを理解してもらう研修会です。新任の推進委員を主対象に、毎年推進委員に配布している「公衆衛生推進手帖」をテキストとして活用しながら、各市町公衛協で基礎研修を開催してください。

また、環境協では下記のとおり講師の派遣を行っています。積極的にご利用ください。詳しくは当協会HPから実施要領をご確認ください。

<講師派遣について>

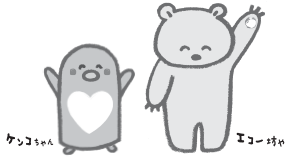
- 市町公衛協及び支部・地区・学区公衛協の単位でお申込みいただけます。
- 対象者は、公衆衛生推進委員及び事務担当者、必要と認められる関係者です。
- 研修時間は原則1時間程度です。
- 「2016公衆衛生推進手帖」を使用した地区衛生組織活動概論、市町公衛協の活動テーマに沿った学習となります。
- 予め電話で日程を調整し、所定の申込書で、実施日の1週間前までに、当協会地域活動支援センターへ提出してください。
- 派遣する講師及び講師が使用する資料に係る経費は当協会が負担し、その他の経費は公衛協で負担してください。



3月27日、大串上島町の大串校道で不法投棄撤去事業が行われました。10年にわたり、不法投棄が問題視されてきましたが、実践活動に結びつかなかった地点で、公衛協が住民と清掃活動をする中で、関係者に現状を確認し、半日かけて約50kgの範囲から2トントラック8台分の不法投棄ごみを片付けました。この事業は、当会のコミュニティ活動助成事業、県や町の財源が充てられませんでした。事業成果を広く告知し、事業のねらいを達成し、モデルケースへの発展を期待します。
(地域活動支援センター)

大串校道で不法投棄撤去事業
活動PRで投棄抑制ねらう

平成27年度
地区衛生組織活動資金募集



通称
『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成27年度で56回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

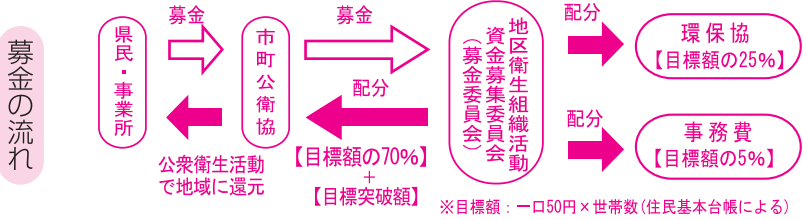
環境・健康募金
総額(円)
58,282,226

市町名	募金額(円)	達成率(%)
呉市	7,984,182	142.9
府中市	1,719,781	155.0
海田町	2,527,940	401.8
熊野町	1,420,600	270.1
坂町	347,300	120.0
江田島市	1,873,500	289.0
竹原市	1,721,700	269.4
大崎上島町	342,700	155.9
大竹市	2,536,440	394.2
廿日市市	3,394,674	213.6
廿日市市佐伯	402,607	165.7
廿日市市吉和	63,400	334.6
廿日市市大野	2,536,000	432.3
廿日市市宮島	208,918	457.2

市町名	募金額(円)	達成率(%)
安芸太田町	758,830	461.2
北広島町	1,118,850	264.8
安芸高田市	2,146,700	317.1
東広島市	4,450,175	112.2
三原市	1,799,280	82.0
世羅町	947,700	274.5
尾道市	4,492,100	139.4
福山市	9,131,256	91.3
府中市	1,093,166	124.8
神石高原町	322,500	156.3
三次市	2,435,505	205.6
庄原市	2,439,525	305.7
その他	66,897	—
合計	58,282,226	158.2



昭和30年代の健康感謝祭の様子



市町別一覧表(平成28年3月末現在)

※この表は、平成28年3月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。